

北海道帯広盲学校

校長名 井上 敬 全校生徒数7名

取組の名称 児童生徒会主体の「全校交流会」の取組

12月10日(金) 3校時

取組の概要 場所：帯広盲学校プレイルーム

【ねらい】

いじめは絶対許されないということを改めて確認するとともに、一人一人かけがえのない存在であることを体感し、仲間意識を高める機会とした。

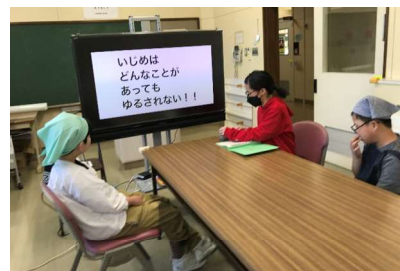
【概要】

事前に児童生徒会役員会を行い、全校で楽しい学校生活にしたいという思いを確認し合った。

「全校交流会」で、児童生徒会長から役員会で話し合った内容を伝えた後、集団ゲームを行った。幼稚部から中学生まで一緒にゲームを楽しんだ。

【子どもたちの感想】

役員会の児童生徒が主体となりゲームの進行を務めた。ルールを守りながらゲームを行うことができた。複数の子どもたちが最後に「楽しかった」と感想を発表してくれた。



【児童生徒会役員会の様子】



【全校交流会の様子】

成 果

役員会の児童生徒は、全校のみんなが楽しめるようなゲームにしたいという思いをもち企画進行に積極的に取り組む様子が見られた。全校で一緒に活動する楽しさを体感することで、仲間意識や自己有用感の高まりが見られた。

北海道帯広聾学校

校長名 大塚 雅彦 全校生徒数19名

取組の名称 全校朝会「友達を大切に」

12月1日(木) 朝の活動

取組の概要 場所：帯広聾学校体育館

【ねらい】

全校朝会において、いじめ調べの結果と講話を聞いて、友だち関係づくりに対して主体的に考え、お互いの良さを認め、よりよい人間関係を築こうとする態度の育成を図る。

【概要】

「あとでやろう」ではなく「今やろう」とする気持ち、約束を守るために相手の立場を考えた言動の大切さや思いやりの気持ちを認め合うことについて全体で共有した。

【児童生徒の感想】

相手の気持ちを考えた言動の大切さと相手にとって分かりやすい表現方法を考えるようになった。



【全校朝会の様子】



【生徒が司会する様子】

成 果

何気ない言葉や行動が、相手を傷つけていたり、不安にさせていたりすることに気が付いた。相手を思いやり、言葉や表現方法を大切にする意識の高まりが見られた。

取組の名称 いじめにつながる行為をやめよう！

12月13日（火）1校時

取組の概要 場所：帯広養護学校 各教室

【ねらい】

いじめにつながる行為を知る。

【概要】

学級で相手が嫌がること、いじめにつながる行為について話し合いを進めた。出た意見のイラストを用いてポスターを作成し、相手が嫌がることはいじめにつながることを説明し、友達と仲よく過ごすことの大切さを伝えた。また、作成したポスターは、校内廊下に掲示した。

【児童生徒の感想】

日常生活の何気ない言葉や自分の身勝手な行動が相手を傷つけたり、いじめにつながったりすることが分かった。友達と仲よく生活していきたい。



【ポスターを作成する様子】



【話し合いの様子】

成 果 みんなが分かりやすいようなイラストを使用したポスターを掲示することで、日々の生活ではいけないことについて気を付けることができている。

取組の名称 生徒会「あいさつ運動」

11月28日（月）5校時

取組の概要 場所：中札内高等養護学校校門前

【ねらい】

生徒同士の関係を深め、仲間意識を高めることで、互いに相手の気持ちを意識し合い、人間関係の育成を図る。

【概要】

生徒会書記局が中心となり、計画した。生徒会で取り組むことで、ねらいを理解し何に取り組むことができるか生徒同士で考えた。

学級、全校集会でも生徒会から呼び掛けを行い、運動を広げた。

【生徒の感想】

- ・自分たちで考え行動することを学ぶことができた。
- ・普段からいろいろな生徒に言葉をかけることが大事と感じた。



【挨拶運動の様子】

成 果 いじめ問題に対して、身近なところから取り組むことができることを学ぶことができた。また、生徒一人一人が言葉を掛け合うことを実施し考え、自分たちのこととして捉えることができた。

取組の名称 SNS によるいじめ予防の取組

11月29日(火) 5・6校時

取組の概要 場所：幕別分校体育館

【ねらい】

SNS を安全に活用するための適切なマナーや、きまりを理解することを通して、SNS によるいじめを防ぐ態度を育成する。

【概要】

外部講師の講義では、「ネットトラブルの事例」について話があり、「立ち止まって考える」、「相手の気持ちを想像する」、「困ったら大人に相談」が大切だということを確認した。

外部講師による講演の後、生徒指導主事から講演の内容を踏まえ、今後心掛けるべき具体的な取組を確認する指導を行った。

事後、各学級で講演内容を振り返り、生徒間で意見交流するなどして、いじめはどんな理由があっても許されないということについて再確認した。



【講師が説明する様子】



【講演の様子】

成 果

SNS によるいじめの被害者・加害者にならないために注意すべきことについての理解が深まり、いじめ根絶に対する意識の高まりが見られた。

取組の名称 総合的な探究の時間におけるいじめについての学習

通年

取組の概要 場所：各学級

【ねらい】

いじめについての理解を深め、相手の気持ちを考える力を育む。

【概要】

いじめとはどのようなことなのか考え、いじめの事例について自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりする。

<個人の取組>

いじめとはどのようなことか、いじめを受けたり、見つけたりしたらどうするかについて考えた。

<意見を出し合う取組>

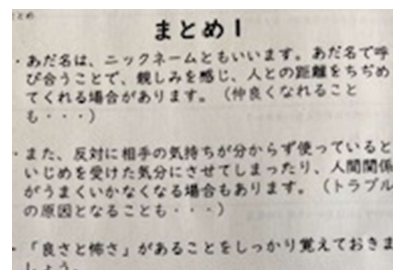
あだ名のよさと怖さ等、複数の事例について、考えをまとめ発表した。

【生徒の感想】

- ・いじめについて改めて考えることができた。
- ・人との関わりの中で気をつけようと思った。



【授業の様子】



【まとめ】

成 果

いじめの事例を通し、自身の経験や現在の状況と結び付け、改めて人との関係について考えることができた。